

事 務 連 絡
令和 7 年 8 月 6 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
理事（小動物臨床部会長） 森 尚志

ペットによる事故防止に関する啓発活動へのご協力をお願い

平素より、小動物臨床分野に係る本会委員会活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、留守番中のペットがガスこんろの操作ボタンを押して火災に至る事故が発生いたしました。このような事故の防止を目的に、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）において、注意喚起用の啓発ポスターが作成されております。

この件につきましては、京都市消防局から京都市獣医師会に対して、当該ポスターを用いて飼い主への注意喚起を、動物病院を通じて行ってほしい旨の協力要請がありました。

本件は、獣医師による地域社会への貢献の一環として、ペットの安全と安心な飼育環境の確保に資する重要な取り組みになると考えることから、全国の小動物臨床会員構成獣医師の皆様にも、何卒ご理解のうえ、同様の対応にご協力賜りたいと考えます。

つきましては、本趣旨をご理解のうえ、可能な範囲で会員動物病院を通じたポスターの掲示や飼い主への注意喚起の実施について、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本件のお問合せ先

公益社団法人 日 本 獣 医 師 会
事業担当：中村
TEL:03-3475-1601
E-mail: nakamura@nichiju.or.jp

ペットがガスこんろの 操作ボタンを押して火災に



留守番中の犬が操作ボタンを押したことで、こんろの火が周囲の可燃物に着火して火災に至った事故が発生しています。



出かける前の約束だよ



ペットに留守番をさせる際のお願い

ガスの元栓を閉める



操作ボタンをロックする



ケージに入れる

のも有効な対策の1つです



※ポスター内の動物と製品は実際の事故とは無関係です。

公益社団法人日本獣医師会はこの取組みに賛同しています。

nite 製品安全センター